

Mizuho Daily Market Report

2025/3/7

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	148.39	147.98	▲0.90	▲1.83
EUR	1.0802	1.0785	▲0.0004	+0.0387
AUD	0.6334	0.6333	▲0.0002	+0.0097
SGD	1.3326	1.3333	+0.0020	▲0.0151
CNY	7.2411	7.2418	+0.0049	▲0.0447
MYR	4.4196	4.4255	▲0.0040	▲0.0155
THB	33.69	33.75	+0.10	▲0.17
IDR	16335	16330	+17	▲120
PHP	57.27	57.33	▲0.02	▲0.57
INR	87.05	87.12	+0.15	▲0.08
VND	25461	25499	▲13	▲43

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.278%	▲0.0 bp	+1.9 bp
日本(10年)	1.541%	+9.3 bp	+14.0 bp
ユーロ圏(10年)	2.833%	+4.0 bp	+42.0 bp
オーストラリア(5年)	4.012%	+10.2 bp	+7.5 bp
シンガポール(5年)	2.604%	+1.8 bp	▲6.8 bp
中国(5年)	1.607%	+4.3 bp	▲3.5 bp
マレーシア(5年)	3.589%	▲0.5 bp	▲0.8 bp
タイ(5年)	1.954%	+0.2 bp	▲1.1 bp
インドネシア(5年)	6.676%	+6.1 bp	▲9.0 bp
フィリピン(5年)	5.894%	▲1.8 bp	+5.5 bp
インド(5年)	6.601%	▲2.7 bp	▲2.5 bp
ベトナム(5年)	2.330%	▲1.5 bp	▲9.2 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	42,579.08	▲1.0%	▲1.5%
N225(日本)	37,704.93	+0.8%	▲1.4%
STOXX50(ユーロ圏)	5,520.47	+0.6%	+0.9%
ASX(オーストラリア)	4,689.88	▲0.7%	▲0.9%
FTSTI(シンガポール)	3,917.06	+0.5%	▲0.1%
SSEC(中国)	3,381.10	+1.2%	▲0.2%
SENSEX(インド)	74,340.09	+0.8%	▲0.4%
JKSE(インドネシア)	6,617.85	+1.3%	+2.0%
KLSE(マレーシア)	1,558.91	▲0.4%	▲1.7%
PSE(フィリピン)	6,219.96	+1.6%	+1.6%
SETI(タイ)	1,189.55	▲1.4%	▲2.2%
VNINDEX(ベトナム)	1,318.22	+1.0%	+0.8%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	301.07	▲0.1%	▲1.6%
金	2,911.80	▲0.3%	+1.2%
原油(WTI)	66.36	+0.1%	▲5.7%
銅	9,747.77	+1.7%	+3.9%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	147.00	—	150.20
EUR/USD	1.0670	—	1.0850
AUD/USD	0.6235	—	0.6430
USD/SGD	1.3290	—	1.3485
USD/CNY	7.2410	—	7.3240
USD/INR	4.3800	—	4.4930
USD/THB	33.20	—	35.15
USD/IDR	16100	—	16600
USD/PHP	56.90	—	58.70
USD/VND	85.80	—	87.80
USD/VND	24,700	—	25,600

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (8)	>	Bear (0)
USD/SGD	Bull (7)	>	Bear (1)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は148円台後半でスタート。東京仲値にかけて上昇するも、その後は失速し149円台前半でもみ合う展開に。その後、25年春闘の賃上げ要求が32年ぶりの高水準となったこと等もあり、円買い優勢の流れとなると、ドル円は午前の上昇分を帳消しにした。結局148円台後半で海外へ渡った。アジア通貨は総じて上昇。中国の全国人民代表大会が前日、財政刺激策を強化する意向を示したことや、米政府がカナダとメキシコに対する25%の関税のうち、北米製の一部の自動車については適用を1カ月免除すると発表したことを受け上昇した。

海外市場のドル円は147円台半ばでNYオープン。NY朝方に発表された米1月貿易収支が予想より悪化した事を受け、147円台前半まで値を下げる場面もあったが、その後米政権が対メキシコへの関税を巡り、USMCAの対象の製品に関しては4月2日まで免除するとの発表を受け、米株高の展開に伴った円売りから148円台半ばまで戻す。午後は上昇していた米金利が上昇幅を縮小する動きが上値を抑え、147円台半ばまで反落。その後は下げ渋り、147円台後半でクローズ。

【金利】

前営業日の米債10年利回りは行って来いではほぼ横ばい。欧州時間ではECBが利下げを実施したほか、軟調な米指標を受け、米金利は低下。その後、ラトニック商務長官からUSMCA製品の関税適用延期の公算とのコメントが出ると米金利は急上昇し、一時4.34%台まで上昇した。しかし、その後、米株が再び下げ幅を拡大する中で米10年債利回りも低下し、結局前日比はほぼ変わらずの4.278%でクローズした。

【予想】

本日のドル円はやや上値の重い展開を予想。昨日公表された春闘の賃上げ要求が高水準になったこともあり、ジフリと日銀の利上げ期待が一段と高まっており、現在、6月までに1回と見られている利上げの前倒し懸念は続きそうだ。また、本日は米雇用統計を控えているが、軟調な結果となる場合には一段のドル売り圧力につながる可能性がある点には留意が必要か。

【本日の予定】

(アジア) 1月 韓国 国際収支・貿易収支
(アジア) 2月 インドネシア 外貨準備高
(アジア) 2月 シンガポール 外貨準備高
(アジア) 2月 タイ 消費者信頼感
(アジア) 2月 フィリピン 外貨準備高
(アジア) 2月 中国 外貨準備高 / 貿易収支
(アジア) 2月 豪 外貨準備高
(欧州) 1月 独 製造業受注
(欧州) 4Q ユーロ圏 GDP(確) / 雇用(確)
(米国) 1月 消費者信用残高
(米国) 2月 失業率 予想: 4.0% 前回: 4.0%
(米国) 2月 平均時給 予想: 0.3% 前回: 0.5%
(米国) 2月 非農業部門雇用者数変化 予想: 158k 前回: 143k
(米国) ウィリアムズ・NY連銀総裁講演、ケグラーFRB理事講演
(米国) ハウエルFRB議長講演、ホウマンFRB理事講演、ホスティック・アトランタ連銀総裁講演

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。